

## 『コミュニケーション障害学』掲載用一般演題抄録原稿執筆要項

2017年6月9日

『コミュニケーション障害学』編集委員長 長南 浩人

本学会で演題発表をされる方は、予稿集用の原稿とは別に、研究成果を報告する「学会誌用原稿」(抄録原稿)を作成していただきます。学会誌用原稿は『コミュニケーション障害学』(2017年12月末刊行)に掲載する予定で、締め切りは7月6日(木)正午です。

なお、発表当日は印刷原稿 2部(両面印刷はせず、必ず片面印刷のこと)を演題受付に提出してください。電子ファイルの内容と印刷原稿とが異なることがないように十分ご注意ください。万一内容が異なる場合、印刷原稿の内容を優先いたします。3ページになると分量超過です。超過分は掲載できませんのでご注意ください。

※「原稿」には、「予稿集用の原稿」と「学会誌『コミュニケーション障害学』掲載用の原稿」(抄録原稿)の2種類があります。本執筆要項では「学会誌掲載用の原稿」(抄録原稿)について説明いたします。

<手順>

- ①Wordなどの文書作成ソフトを用い、下記の方法で原稿を作成してください。
- ②原稿を『座長・発表者の皆様へ』のページに表示されている手順にそって送信してください。

1. A4判の用紙に22字×20行、原稿用紙の設定に書式設定のうえ作成してください。
2. 日本語、英数字ともにフォントは「MS明朝」を使用してください。
3. 下記の順番で記載してください。

演題番号<改行>

表題(副題がある場合は「:」で区切って改行せず続ける)<改行>

氏名(連名の場合は各人の間に一文字分の空白を入れ、発表者の氏名の前に○をつける)<改行>

所属(連名の発表で所属が異なる場合は各発表者の氏名の右上と所属の左に番号を入れる)<改行>

本文(700字[32行]以内)に収め、目的・方法・結果・考察・結論を簡潔に述べてください。句読点・括弧や片仮名も1マス分[全角文字]を用い、数字は原則として算用数字を用いてください。音声字母を使用する場合は特に明瞭に記してください。表題・氏名・所属が合計して6行よりも多くなる場合はその分本文を減らしてください。

4. 英数字は半角文字で統一してください。
5. 図表は使用できません。
6. 年号は西暦を用い、個人が特定できるような記載は避けてください(事例のイニシャルは使用しない、生年月日や発症日は年月までにする、など)。
7. 具体的には『コミュニケーション障害学』33巻3号をご参照ください。